

組合の楽しい便り投稿歓迎します。

# ラベルニュース

No471



令和7年3月号

東京都ラベル印刷協同組合

編集:広報・情報システム化委員会

☎111-0051 東京都台東区蔵前4-16-4

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

「価格転嫁推進大会」初の開催！  
 まだ50%の企業が転嫁できず  
 賃上げの原資確保のため価格転嫁を



大会宣言を採択した大会風景景



挨拶する小池都知事

①「パートナーシップ構築宣言」の理念・意義の理解促進を図り、未宣言企業への取り組みを推進します。

②価格転嫁に関する情報

③価格転嫁が円滑に進むよう、付加価値向上に取り組む、競争力強化に努めるとともに、生産性向上に取り組みます。

主催中小企業6団体の取り組み

この後中小企業庁や公正取引委員会による施策の説明や、各団体の取組みについて報告がありました。

■採択された共同宣言

中小企業・小規模事業の取組み

人手不足、適正な価格での取り引きなど、どれも深刻な課題だ。中小企業をしっかりと後押しし、戦略的な価格交渉が進むよう支援を強化していく」と述べました。

④価格転嫁、生産性向上に取り組む中小企業・小規模事業者をサポートします。

(関連記事は三面に)

二〇二五年二月四日  
 東京都商工会議所連合会  
 東京都商工会議所  
 東京都中小企業団体中央会  
 東京都商店街振興組合連合会  
 東京都商店街連合会

## 第59回通常総会

5月23日(金)・上野東天紅

出席は義務ではなく権利です

## パワーコミュニケーションセミナーを 笑いを通じて営業力アップを高める

全日本シール印刷協同組合連合会（田中祐会長）は、二月五日（水）午後四時より都立産業会館浜松町館に於いて「パワーコミュニケーションセッションセミナー」を開催しました。



講師の夏川立也氏

当日はリアル参加とオンライン参加併せて百人を超

える参加者があり、初めに谷口真司国際・広報委員長が挨拶と講師の紹介をしセミナーがスタートしました。今回の講師である夏川立也氏は京都大学卒業後、当時の桂三枝（現在の桂文枝）の弟子になりお笑いタレントというユニークな経歴の持ち主で「笑いを通じて、営業力、コミュニケーション力を高める」をテーマに九十分講演しました。

■日時・二月七日（金）  
■場所・組合会議室  
■出席者・北島憲高 大澤雅純 本間敏道 保坂知彦 前田智信 清宮和夫  
■欠席者・藤井雅一 平山愛二郎

### 【議題】

#### ■今後の組合事業について

①勉強会「職場の犯罪対策について」三月十二日（水）午後四時 上野スペースブルー

#### ②合同支部会について

今期最後の合同支部会を勉強会の後に開催したらどうかという意見が出され、勉強会終了後に開催することです承された。

#### ③ラベルフェスタについて

ラベルフェスタは八月二日（土）に都立産業会館浜松町館での開催が決まっているが、正札、神奈川、協賛会と綿密に打合せを行っているとの報告があった。

#### ④ラベルコンテスト勉強会

について 当初は八月七日（土）に三條機械製作所で開催の予定だったが、これ

が八月十四日（土）に変更になったことが報告された。

#### ■組合決算について

本間専務理事より組合決算について今年度はかなり厳しい状態になっていることが報告され、その理由として組合員の大幅な減少、組合取扱商品の売り上げ減少、組合員名簿や展示会の収入が無くなったことがあげられ、このままでは来期赤字決算にもなりかねないので、理事一人ひとりも少し組合財政に関心を持ってほしいと要請があった。

#### ■「ラベルニュース」の紙面刷新について

「ラベルニュース」は現在年間十回発行しているが、そのすべてを本間専務理事が担当しているため、物理的にも限界があり、四月からは組合員や協賛会に原稿を依頼することを考えたいと提案があり、手始めに理事から何か寄稿してもらうことです承された。

#### ■その他

総会が五月二十三日（金）上野東天紅で開催を確認。



パワーコミュニケーションセミナー

さすが吉本芸人だけあって、入りから人を飽かさず、笑いを交えて会場を一つにする話術はさすがで独自のパワーコミュニケーション術を披露しました。あつという間に九十分が過ぎ、会場の参加者やオンライン参加者には概ね好評でした。

終了 午後七時

## 取引段階別の価格転嫁状況で判明 四次取引先では三五・七%にとどまる

経済産業省・中小企業という。かねて「取引段階はサプライチェーン（供給網）の取引段階別の価格転嫁状況を初めて調査した。指摘はあったが、今回の調査であらためて浮き彫りになった形だ。

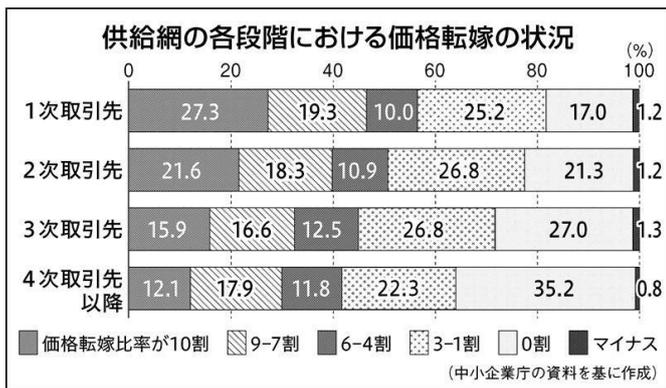
1・8%だったのに対し、9月の価格交渉月間を受けたフォローアップ調査の中で、新たに、供給網の少し、4次取引先以上では35・7%だった。

一方、調査回答全体の価格転嫁率は3月の前回調査と比べ3・6ポイント増の49・7%に上昇。価格は交渉は前進しているが、供給網全体への浸透が課題となる。

2次、3次取引先の転嫁率はそれぞれ46・1%、39・7%だった。全く価格転嫁できなかった、もしくは価格を減らされた企業の割合も1次では18・2%だったのが4次以上では36・0%だった。企業庁によれば「階層が深くなるほど企業規模が小さくなり価格交渉力が劣る」「各段階の手数料が引かれ原資が減る」といった声がある

全体の傾向として状況は好転している。価格交渉できた企業の割合は、前回調査比1・2ポイント増の86・4%となった。このうち発注側からの申し入れで交渉が行われた企業の割合は、同2・0ポイント増の28・3%に伸びた。また一部でも価格転嫁できなかった企業は同2・7ポイント増の79・9%で、全く転嫁できない、もしくはマイナスの割合も同2・7ポイ

ント減の20・1%と縮小した。ただ企業庁は「それでも転嫁できない企業は2割残っており、できる企業とできない企業の二極化がみられる」と、さらなる転嫁対策の重要性を訴える。このほか、今回は官公需における価格交渉や価格転嫁の実態も初めて調査した。受注後に人件費やコストが上がる単価の変更はできないが、入札で価格が決まっているため交渉は不要とする企業が59・9%に上った。今後は制度の周知も焦点となりそうだ。



## 日本のラベル市場 二〇二五」発刊へ ラベル新聞社

ラベル新聞社は今年もラベル市場を包括するマーケットブック「日本のラベル市場二〇二五」を三月下旬に発売予定で、予約受付を開始している。

同書は毎年発行されているが、国内外のラベルマーケットを多角的に分析、市場規模や分野別動向をグラフ化し、アフターコロナの業界潮流を掲載している。定価は税込み三万三千元。申し込みはラベル新聞社まで。予約特典として「ラベル資機材企業総覧二〇二五」CDROM版(定価三千三百円)が付いてくる。ホームページからも予約可能。

☎ 三八六六―六五七七。



全日本シール印刷協同組合連合会では、このほど「第九回技術優良工場」二十社を認定しました。その結果二〇二五年は「第八回技術優良工場」四社と合わせて二十七社が認定工場として登録されています。

認定方法は、第三十四回「優秀技術認定工場」指定制度の創設のリリース⑥全日本シール印刷協同組合連合会ホームページで紹介⑤業界紙に一月一日から二〇二六年十月三十一日までの二年間「認定登録」され①認定工場専用ネームプレートの付与②認定工場専用マークの使用許可④連合会ホームページ/

今回の「第九回技術優良工場」の結果二十七社が認定されました。

詳細は連合会ホームページで。  
<https://www.seal.gr.jp/>

## 第9回・第8回技術優良工場一覧表

	社名	認定期間	登録番号	備考	協組
1	㈱三共シール	2025年1月～2026年12月	0010	第9回	東海北陸
2	㈱サンメック	〃	0002	〃	ラベル
3	㈱丸信	〃	0001	〃	九州
4	精英堂印刷㈱	〃	0004	〃	東北
5	㈱シモクニ	〃	0006	〃	北海道
6	進和ラベル印刷㈱	〃	0017	〃	東北
7	タカラ印刷㈱(㈱タカラ)	〃	0012	〃	正札
8	㈱九州クラフト工業	〃	0019	〃	九州
9	サトーインプレス㈱	〃	0014	〃	正札
10	㈱コーワシーリング	〃	0060	〃	正札
11	シーベル産業㈱	〃	0005	〃	正札
12	アサヒラベル㈱	〃	0028	〃	大阪
13	㈱京都シールレーベル	〃	0021	〃	京都
14	共栄紙工㈱	〃	0048	〃	京都
15	㈱ワールドプリンター	〃	0059	〃	正札
16	カンサイタカラ印刷㈱	〃	0008	〃	大阪
17	萬誠社印刷㈱	〃	0050	〃	九州
18	㈱サトー(協力工場フジワラ印刷)	〃	0047	〃	正札
19	㈱ヤカグループシール事業部	〃	0011	〃	大阪
20	㈱タカヨシ	〃	0016	〃	正札
21	㈱プライム・ハラ	〃	0026	〃	大阪
22	カミイソ産商㈱	〃	0049	〃	大阪
23	㈱竹内紙器製作所	〃	0061	〃	神奈川
24	㈱サン技研	2025年1月～2025年12月	0045	第8回	ラベル
25	谷口シール印刷㈱	〃	0008	〃	大阪
26	㈱丸紀印刷	〃	0015	〃	大阪
27	㈱北島シール印刷所	〃	0041	〃	ラベル

(順不同)

・備考欄は第9回技術優良工場認定の区分、第8回技術優良工場認定の区分

## ご存知ですか？

## 温室効果ガス排出をゼロにするカーボンニュートラル

おり、このままでは世界の気象に多大な影響を与えることは必至です。

は世界全

■カーボンニュートラル  
二〇二〇年十月、菅元総理は所信表明演説において二〇五〇年までに「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言しました。

温室効果ガスの排出を全体としてゼロとするというものです。排出せざるをえなかった分については同じ量を「吸収」または「除去」することで、差し引きゼロを目指します。

日本が目指す「カーボンニュートラル」とは、CO<sub>2</sub>だけに限らず、メタン、N<sub>2</sub>O（一酸化二窒素）、フロンガスを含む「温室効果ガス」を対象にしたものであり、「全体としてゼロに」とは、「排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにする」ことを意味します。

### ■なぜ必要なのか

地球温暖化への対応が喫緊の課題であることに加えカーボンニュートラルへの

の挑戦が次の成長の原動力につながるからです。近年、世界では様々な気象災害が発生しており、今後日本においても、自然生態系、自然災害、産業・経済活動等への影響が出ると言われています。

気候変動の原因となっている温室効果ガスは、経済活動・日常生活に伴い排出されています。将来の世代も安心して暮らせる、持続可能な経済社会をつくるため、今から、カーボンニュートラルの実現に向けて、取り組む必要があります。

### ■日本は実現できるの

温室効果ガスの排出を全体としてゼロとするというものです。排出せざるをえなかった分については同じ量を「吸収」または「除去」することで、差し引きゼロを目指します。

「二〇五〇年までに達成」という目標は、大変困難な課題であり、日本の

CO<sub>2</sub>排出量の約四割を占めている発電部門の脱炭素化が大前提になります。発電部門の脱炭素技術としては、大きく分けて再生エネルギー、原子力、カーボンリサイクル、水素発電、アンモニア発電の五つが挙げられます。

しかし再生エネルギー以外の三つは技術的なイノベーションが必要であり、まだ安定的に電力を供給できる段階ではありません。そのため、二〇五〇年のカーボンニュートラルの実現には、確立した脱炭素技術である原子力の活用が不可欠だと言われています。

### ■各国別の排出量

国別の排出量では中国が一六〇億トンで世界の排出量の約三〇%を占める。

次いで米国が五九億トンで、インドも四一億トンと排出量が多い。二〇カ国・地域（G二〇）加盟国（アフリカ連合の国を除く）の合計

は世界の七七%を占めています。日本の排出量は環境省によると、二〇一三年度は一四億トン。その後減少傾向にあったが、二一年度は十一億トンで前年度比二〇%増加しました。

### ■パリ協定とは

二〇一五年に制定された気候変動対策の国際的な枠組みのこと、またそのために、できるかぎり早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、二十一世紀後半には、温室効果ガス排出量と（森林などによる）吸収量のバランスをとる、即ちカーボンニュートラルを実現することが定められ、これが世界共通の目標となっています。

しかし、現実には達成不可能とも思える数値となっており、発展途上国からは不公平だという声も出ており、トランプ大統領も就任後すぐに離脱を決めています。地球温暖化は進んで

## ■花粉症とは

花粉症の人にとっては、つらい時期がやってきました。今年も例年よりも早く花粉が飛ぶとの予報が出ており、すでに一月から地域によってはスギ花粉が飛んでいるようです。

No212 健康がいちばん!

## 花粉症は初期療法が大事に

7割はスギ花粉が原因、ヒノキも

ツトなどが原因になるので、化する傾向があります。一年中症状が持続する通年性アレルギー性鼻炎と、花粉が原因で、その花粉が飛散する季節だけに症状が出る現する季節性アレルギー性鼻炎があります。しかしながら、複数種類の花粉が原因になっていることも多く、毎年長期間症状に悩まされる人も多いようです。

### ■花粉症の原因

花粉症の約七〇％はスギ花粉症だと考えられています。これはわが国には全国の森林の一八％、国土の一二％をスギが占めているためでもあり、関東や東海地方ではスギが中心になります。また、関西ではスギと並んでヒノキも植林面積が広いので、ヒノキも要注意です。一方、北海道にはスギやヒノキが少なくシラカンバ属（カバノキ科）が多いという特徴があります。

### ■花粉症の症状

花粉症は、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎の中でもスギやヒノキなどの春の花粉が原因によるものが多く、主にくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみ、充血などが生じます。

### ■鼻炎は二種類

アレルギー性鼻炎にはハウスダスト（ダニ）やペ

「くしゃみ」、「鼻づまり」が三大主徴です。目にもかゆみや異物感が生じ、花粉飛散量に比例して症状が悪

では、本格飛散開始予測日の一週間ほど前から始めることもあります。

早めに薬を使用することで、花粉の飛散量が多くなった時期でも症状をコントロールしやすくなり、症状を抑えた状態でシーズンを送ることができます。

### ■個人の対処法

個々人でできる花粉症への対処法は、花粉を回避すること（抗原回避）、出てくる症状を抑える治療法（対症療法）、アレルギー免疫療法（舌下免疫療法、皮下免疫療法）などがあります。

### ■初期療法

花粉症は、一般に症状が悪化すると薬の効果が得られにくくなりますので、症状が軽いうちに症状を抑える薬を使い始める「初期療法」が勧められています。初期療法では、本格的に花粉の飛散が始まると予測されている日（本格飛散開始予測日）または花粉症の症状が少しでも現れた時点で薬を使い始めるのが一般的で、一部の薬や重症例

### 【参考資料】

<https://arellgyportal.jp>

